



工学部とノッチンガム大学工学部との 学部間協定の締結について

工学部 計数管理工学講座 長 町 三 生

ノッチンガム大学との 学部間協定

一九九三年十二月二日の正午に、佐々木

和夫工学部長とS. F. Brown ノッチングガム大学工学部長とが、両大学学部間国際学術交流協定書に調印をいたしました。

その日は冬の寒い日であり、佐々木学部長のお伴をしてロンドン市内のセントパンクラス駅から列車に乗つて、約二時間半でノッchinガム駅に到着しました。工学部では、国際交流委員長オブライエン教授及びブラウン工学部長ほか数名の教授たちが待ちうけ、早速工学部長室で調印式を実施しました（写真）。その日の昼食及び夕食では、われわれ二人とも多くの人たちに大歓迎を受けました。

ノッチンガム市と
ノッchinガム大学

ノッchinガムといえば、われわれはすぐロビン・フッドを思い出しますが、森に囲まれた美しい街であり、レースの産地として有名な都市です。

ノッchinガム大学は一八七三年にケンブリッジ大学分校として設立され、地元の有名な数企業の資金援助により拡大されてきております。敷地は約十四万坪、中央に大きな湖をもち、七学部で学部学生約八千人、大学院学生約千人、教員数約千二百人の中規模大学です。なかでも、医学部と工学部とが有名であり、医学部附属病院は英国最大のベッド数を誇つており、また工学部では土木工学科と生産工学科とが業績及び社会に与える貢献で高く評価されております。

また、七百名の外国人学生が留学していく国際交流に大変力を入れている大学であり、最近アジア事情研究所が設立され、アジアからの学生が増加している状況であり、日本からも学生が留学しています。